



水産情報速報版

H17. 9.22 1161

静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行=指導部漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 今年もイルカ追い込み漁を実施

伊東市漁協では9月13日、富戸地区に伝わる「イルカ追い込み漁」の、今年度(漁期9月～翌3月)の実施方針について説明会を開催しました。

今年度県が許可した捕獲枠はバンドウイルカ75頭、食用肉となるスジイルカとアラリイルカ計525頭で、今年度も水族館から20頭近くの需要が見込まれることから同漁協では水族館向けのバンドウイルカを中心に捕獲を計画しています。

5年ぶりの水揚げとなった昨年は、全国7カ所の水族館向けに14頭、遠洋水産研究所が1頭に発信機を取り付け海に戻し、漁業関係者の自家消費に5頭、追い込み作業中にへい死した4頭のバンドウイルカを捕獲しています。

2. 女性漁業者グループリーダー研究集会、フレッシュ・ミズ・プログラム開催される

JF全漁連、JF全国女性連は9月14～15日の両日、第11回全国女性漁業者グループリーダー研究集会と、第6回JF全国女性連フレッシュ・ミズ・プログラムを合同で開催し、本県からJF静岡女性連会長理事山本節子氏(田子)、副会長理事津島幸子氏(稲取)、理事吉田朱美氏(由比港)をはじめ、全国のJF女性部組織の代表者約180名が参加しました。

始めに、主催者を代表して尾山春江JF全国女性連会長が挨拶し、引き続きJA全国女性組織協議会顧問峰島歌子氏が「女性の参画について」をテーマに講演が行い、続いて、JF女性連の原点に返った活動方針として積極推進している天然石鮫使用推進運動に関して、野草庵・環境科学調査オフィス医学博士坂下栄氏が「石けんの推進方策」をテーマに講演されました。

午後は、グループリーダーが12グループ、フレッシュ・ミズが4グループに分かれて「漁村の活性化における女性の役割」を基本テーマに 地産地消推進 女性の参画運動 環境保全活動 都市との交流 の4つのテーマについてそれぞれのグループで議論を重ね、女性の参画については、漁協の組合長、理事、行政等の理解が必要不可欠で、また、家族の協力と理解が必要などと活発な意見がだされました。

翌日は、裾南町保田漁協直営の魚食普及食堂「ばんや」への視察研究も実施され、浜のレストランの先進事例として熱心に見学し、昼食は保田沖の定置網で揚がる豊富で新鮮な魚介に舌鼓を打ちました。

3. 海の「健康診断」導入 温暖化・汚染対策に活用

気象庁は、地球温暖化に与える影響や海洋汚染の状況をつかみ、防止対策に役立てることを目的として、日本近海や北西太平洋の汚染状況や水温、二酸化炭素濃度などの観測データを“定期診断”してまとめる「海の健康診断表」を10月下旬から同庁のホームページで公表し、環境問題に取り組む国や自治体のほか漁業者などにも活用してもらうように期待しています。

健康診断表は 温暖化にかかわる変化 気候に関する長期的変化 短期的変化

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

海洋汚染の4分類21項目について詳しく解説します。

また日本の天候に影響を与えるエルニーニョやラニーニャ現象などの見通しも示されるほか、台風の進路や勢力の予測にも活用されます。

海洋汚染では、北西太平洋の浮遊プラスチック、重金属、油分の3項目の量を年に1回公表します。また、気候の短期的変化では、黒潮、親潮の流路や海面水温などを2週間に1回まとめます。

温暖化では、日本の海面水位の長期傾向や北西太平洋の二酸化炭素濃度などを年に1回取りまとめ、温暖化の影響や見通しについて解説します。

4. 平成17年度漁協組合長会議・研修会開催のお知らせ

本会では、来る9月28日(水)～29日(木)の両日三溪園(伊豆の国市長岡)において、平成17年度漁協組合長会議・研修会を開催します。

この会議は、自立漁協の構築に向けた経営と組織の再編に取り組むため、今後の課題について討議するとともに、漁協運営と協同組合運動のリーダーとして研鑽し、もって本県水産業の振興と系統組織の健全な発展に資するもので、本年度の研修内容は次のとおりです。

第1日目 講演「JF事業・組織・経営改革に向けた新運動方針について」講師=全国漁業協同組合連合会信用・組織経営部長合田功氏、報告1「県漁協基盤強化方針の実践状況中間報告」県漁協系統経営基盤強化対策本部、報告2「県信漁連経営改善計画の取組状況について」県信漁連、分科会

第2日目 分科会報告 平成16年度要望事項・予算要望の結果報告 平成17年度組合長会議

問合せ先：指導部組合課 TEL054-254-6011

5. 新刊図書紹介 「水産資源の先進的有効利用法 ～ゼロエミッションをめざして～」

(株)エヌ・ティー・エスはこのほど、坂口守彦京都大学名誉教授、平田孝京都大学院農学研究科教授の監修による「水産資源の先進的有効利用法 ～ゼロエミッションをめざして～」を発行しました。

本書は、今まで未利用であった水産生物内の有用物質や、廃棄されていた魚介類の部位や、水産業においてやっかいもの扱いされていた赤潮プランクトンやヒトデなどを食品・医療品・化粧品・エネルギー資源などに有効利用する、最先端の方法や試みを幅広く紹介しています。

その他にもクラゲ、アキサケ、パフンウニなどの有効利用や、漁獲物の品質の問題点と利用性の向上についても紹介しています。

定価：39,060円(税込) B5版・480頁

問合せ先：(株)エヌ・ティー・エス TEL：03-3814-9151

6. 諸会議日程(9月27日(火)～10月10日(月))

- 既報分省略 -

10月 5日(水) 県おさかな普及協議会 =

第1回イキイキ高校生おさかな料理コンクール書類審査 (県水産会館)

10月 6日(木) 県漁船保険組合 = 漁船保険事務担当者研修会 (ブケ東海静岡)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう